

小原重雄さんに 名誉町民の称号

町議会定例会3月会議で、町内和味出身で俳人・元県職員の小原重雄さん（盛岡市在住・95歳）に名誉町民の称号を授与することが同意され、3月21日、役場の町議会議場で顕彰状の授与式が行われました。

本町で4人目となる 名誉町民の称号を授与

町では、平成4年に制定された「矢巾町名誉町民に関する条例」に基づき、町の名誉高揚に尽くした町民、町出身者に「名誉町民」の称号を授与しており、小原さん

は、岩手医科大学名誉教授で南昌病院創設者の故木村武さん（高田出身）、元県議会議長の故藤原哲夫さん（白沢出身）、筑波大学名誉教授・国際柔道連盟名誉会員の故川村禎三さん（東徳田出身）に続く、4人目の名誉町民となり

ました。小原さんの顕彰状授与式には、高橋昌造町長や廣田光男町議会議長をはじめ、町民の方など約80人が出席。高橋町長が「町民一同、先生の偉大なご功績を讃え、名誉町民として矢巾町史に刻んでまいります」と式辞を述べ、小原さんに顕彰状を授与しました。小原さんは「これまでの俳句人生と職

を高く評価していただき、本当に光栄です」とお礼の言葉を述べました。

地方自治の伸展と 俳句界の発展に多大な功績

小原さんは、県職員として地方自治の伸展や社会福祉の増進、地域社会の向上に尽力する傍ら、県出身の俳人山口青邨氏に師事し、俳人（俳号・啄葉）としても活躍。俳句雑誌「樹氷」の創刊や、岩手県俳人協会、岩手県俳句連盟の設立など、岩手県の俳句界発展に貢献されました。また、岩手県人初



高橋町長から顕彰状を受け取る小原さん



おばら しげお
小原重雄さん

◇主な経歴◇

大正10年5月21日 町内和味に生まれる

【俳人としての経歴】

- 昭和16年 俳句雑誌「ホトトギス」に投句 初入選
- 昭和26年 俳句雑誌「夏草」に入会
山口青邨氏に師事
- 昭和34年 「夏草」新人賞受賞
- 昭和52年 岩手県俳人協会設立に参画
代表幹事に就任
- 昭和53年 俳句雑誌「樹氷」を創刊、主宰
- 昭和57年 岩手県俳人協会会長、
岩手県俳句連盟会長
- 平成9年 句集「滾滾」で第36回
俳人協会賞受賞（県人初）
- 平成10年 第51回岩手日報文化賞受賞
- 平成16年 句集「永日」で
第4回俳句四季大賞受賞
- 平成19年 句集「平心」で
第22回詩歌文学館賞受賞
- 平成21年 「樹氷」名誉主宰に就任
- 平成24年 震災句集「黒い浪」を刊行
※現在、(公社)俳人協会顧問

【県職員としての経歴】

- 昭和15年 岩手県入庁
- 昭和30年 自治大学校入学
総務部財政課長、県人事委員会事務局長、福祉部長など要職を歴任
- 昭和55年 定年退職
- 平成3年 勲四等旭日小綬章受章
(地方自治功勞)